

## 2025年度事業計画

### 1. 館蔵品等展示

#### ◇2025年春季展

1階・地階展示室 能楽の美 ―能面・能装束と能楽ゆかりの茶道具―

【前期】 3月8日(土)～ 4月20日(日)

【後期】 4月26日(土)～ 6月8日(日)

(4月21日～25日の期間は展示替のため休館)

#### ◇2025年秋季展

1階展示室 「近代数寄者展(仮称)」

地階展示室 【前期】「茶箱展(仮称)」 / 【後期】作家による個展(5人予定)

【前期】 9月6日(土)～ 10月19日(日)

【後期】 10月25日(土)～ 12月7日(日)

(10月20日～24日の期間は展示替のため休館)

### 2. 講演会

10月17日(金) 14:00～ 於 国際交流会館 特別会議室(定員80名) 実施予定

### 3. 各種講座

「茶会記を読む会」・「古筆を読む会」を各毎月1回、年間10回実施予定

### 4. 刊行物

『研究紀要』第35号(2026年3月10日発行予定)

### 5. 館蔵品の修復(予定)

春屋宗園筆 諸悪莫作修善奉行 一行書

備前鶴首花入

近藤道恵作 桐時絵雪吹

など

### 6. 美術品の貸出(予定)

・茨城県立歴史館 2月15日～ 4月6日

「開館50周年記念 雪村」

雪村周継筆 風濤図

・MIHO MUSEUM 7月12日～8月24日

「伝説の漆匠 佐野長寛(仮)」

佐野長寛作 花陰蒔絵食籠

佐野長寛作 正法寺漆絵蓋物

佐野長寛作 紅葉蒔絵吸物椀

佐野長寛作 海老蒔絵棗

・茶道資料館 9月3日～12月7日

秋季特別展「繕つくろいの茶道具（仮称）」

高台寺詩こうだいじまきえなつめ絵え棗さう

粉引こひきちやわん茶碗ちawan

（常修院好じょうしゅういんこのみ 寄竹蓋置よたけふたおき）

（刷毛目茶碗はけめちやわん 銘しるし 四海兄弟しかいけいてい）

・MIHO MUSEUM 9月20日～12月14日

秋季特別展「近江の名所（仮称）」

梨地詩なしじまきえ絵え近江八景十種香箱おうみはっけいじっしゆこうばこ

・五島美術館 10月28日～12月7日

「古染付と祥瑞（仮称）」

古染付張甲牛香合こそめつけはりこうしこうごう

古染付葡萄棚水指こそめつけぶどうたなみずさし

古染付桜川水指こそめつけさくらがわみずさし

古染付輪花三足鉢こそめつけりんかみつあしぼち

古染付漢詩茶碗こそめつけかんしちやわん

祥瑞二段捻鉢しょうずいだんひねりはち

・大分県立美術館 11月～2026年1月

OPAM開館10周年記念展

「美のあゆみ Vol.2 -中心と周縁・豊かな文化の拡がり-」

上杉瓢箪茶入うえすぎひょうたんちやいれ

7. ギャラリートークなど

館長による特別鑑賞会（有料）

3月31日（月）、5月26日（月）、9月29日（月）、11月17日（月）

8. 地域との連携

京博連、岡崎魅力づくり協議会、京都きものパスポート、京都市観光協会

9. 職員数（2025年3月10日 現在）

職員：3人 嘱託：2人 非常勤職員：6人